



No.200
 令和4年9月
 定例会号
 2022年11月1日発行

いるま市議会だより

いるま市議会だより

いるま市議会だより

9月定例会

条例など32議案等を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
クローズアップ討論	4 P・5 P
15名が一般質問	6 P
市民の声	16 P

いるま市議会だより
 No.170
 平成27年3月
 定例会号
 2015年5月1日発行

3月定例会

- 平成27年度予算案を原案可決 2P
- 条例など44議案を審議 7P
- クローズアップ討論 8P
- 定例会議決結果 9P
- 14名が一般質問 11P
- 市民の声、市民情報 18P

完成間近—健康福祉センター—
 来春オープンへ工事急ピッチ—

いるま市議会だより
 No.140
 平成14年9月
 定例会号
 2002年11月1日発行

9月定例会

- 条例、議案など34議案を審議 5P
- 各課社会員委員行政視察報告 30P
- 12名が一般質問 40P
- 市民の声、市民情報 120P

安全 快適 魅力
 豊岡第一北地区第一種市街地

いるま市議会だより
 No.150
 平成22年3月
 定例会号
 2010年5月1日発行

2月定例会

- 平成17年度予算案を原案可決 02P
- 02名が一般質問 03P
- 改選後の初議員、議員紹介 04P
- 市民の声、市民情報 05P

いるま市議会だより
 No.170
 平成27年3月
 定例会号
 2015年5月1日発行

3月定例会

- 平成27年度予算案を原案可決 2P
- 条例など44議案を審議 7P
- クローズアップ討論 8P
- 定例会議決結果 9P
- 14名が一般質問 11P
- 市民の声、市民情報 18P

備の進む
 さいたま緑の

いるま市議会だより
 No.13
 平成17年2月
 定例会号
 2005年4月1日発行

2月定例会

- 平成17年度予算案を原案可決 02P
- 02名が一般質問 03P
- 改選後の初議員、議員紹介 04P
- 市民の声、市民情報 05P

れる
 福祉行政



- 人事案件 1 件 ◀
- 条例 5 件 ◀
- 一般議案 8 件 ◀
- 補正予算 7 件 ◀
- 令和3年度決算認定および関連議案 11 件 ◀

第3回定例会

👉 32議案を審議

条例

新規 条例	議案第 51 号	入間市地区センター条例
	議案第 52 号	入間市犯罪被害者等支援条例 犯罪被害者等が受けた被害の軽減や回復を図るとともに、犯罪被害者等を支え合う地域社会の実現にむけ、その支援に関し、基本理念等を定めたものです。
	議案第 53 号	おいしい狭山茶大好き条例
一部 改正 条例	議案第 49 号	入間市手数料条例等の一部を改正する条例
	議案第 50 号	入間市職員の育児休業等に関する条例及び入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例



令和4年9月定例会(第3回定例会) 議決結果

■賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等 番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党 入間市議団			日本共産党 入間市議団		市民 フォーラム	無所属の 議員	賛成	反対	議決 結果 等					
		横 田 淳 一	宮 岡 治 郎	小 島 清 人	紺 野 博 哉	鈴木 洋 明	松本 義 明	内村 忠 久	古 仲 リ カ	長 谷 川 涉	双 木 小 百 合	大 野 勉	吉 田 賢 一	池 田 司	永 澤 美 恵 子	金 澤 秀 信	向 口 文 恵	末 次 正				安 道 佳 子	小 出 亘	佐 藤 匡	野 口 哲 次	細 田 智 也
市長 提出 議案	51 入間市地区センター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	17	4	原案 可決
	53 おいしい狭山茶大好き条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	17	4	原案 可決

■全会一致の議案等

議案番号	議案等の件名
48	入間市固定資産評価審査委員会委員の選任について
49	入間市手数料条例等の一部を改正する条例
50	入間市職員の育児休業等に関する条例及び入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
52	入間市犯罪被害者等支援条例
54	市道路線の廃止について（市道A138号線）
55	市道路線の認定について（市道A138号線）
56	市道路線の廃止について（市道F93号線）
57	市道路線の認定について（市道F93号線）
58	市道路線の廃止について（市道G305号線）
59	市道路線の認定について（市道G305号線）
60	市道路線の認定について（市道G696号線）
61	財産の取得について
62	令和4年度入間市一般会計補正予算（第6号）
63	令和4年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
64	令和4年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
65	令和4年度入間市介護保険特別会計補正予算（第1号）
66	令和4年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
67	令和4年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
68	令和4年度入間市水道事業会計補正予算（第1号）
69	令和3年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について
70	令和3年度入間市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
71	令和3年度入間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
72	令和3年度入間市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
73	令和3年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
74	令和3年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
75	令和3年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
76	令和3年度入間市水道事業会計の利益の処分について
77	令和3年度入間市水道事業会計決算認定について
78	令和3年度入間市下水道事業会計の利益の処分について
79	令和3年度入間市下水道事業会計決算認定について

議案第 51 号 入間市地区センター条例

市民の主体的なまちづくり活動及び学習活動を支援するとともに、市民相互の交流や連携の促進、地域の活性化と市民福祉の増進を図るために、9地区に1施設ずつ配置。公民館、支所、自治振興支援、防災拠点、福祉総合相談支援窓口、地域包括支援センターといった6つの機能を備えた各地区の拠点となる施設を設置するものです。



賛成
自由民主党
入間市議団

地区センターは、市内9か所に、支所、公民館、自治振興支援、防災拠点、福祉総合相談支援窓口、地域包括支援センターの6つの機能を有する施設を設置するもので、市民の暮らしを支える地域の拠点としての機能を備えた複合施設を目指すものである。

6機能が連携することで、地域住民の利便性が向上するだけでなく、地域福祉の向上も図られると期待できる。地域の課題を地域で解決できるまちづくりへの取り組みが、さらなる市民と行政の協働のまちづくりへと発展することを願い賛成する。

賛成
公明党
入間市議団

人口減少や地域コミュニティの希薄化が進むなか、市民主体のまちづくり・学習支援・市民福祉増進など6つの機能を備えた地区センターを市内9地区に1か所ずつ設置するために必要な事項を定めるものと理解。地域住民の理解が得られるよう貸館となる4公民館

の利用者へは丁寧な説明を。未解決の市民意見には最大限努力し、1月予定の市民向け説明会の前倒しや回数増を要望。地区センター化により地域課題の解決に向けて、行政と市民が一丸となって取り組む真の地域主導のまちづくりに期待し賛成。

反対
日本共産党
入間市議団

入間市地区センター条例では、13カ所の地区公民館を9つの地区センターに削減。地域コミュニティの基盤・防災拠点を失うことは地域にとって大問題。マネジメント計画では、30年間で順次地区センター化の計画が、条例では、一斉に地区センター化し、4カ所

の分館は令和10年度に一斉廃止。例えば、久保稲荷公民館は30年後廃止の計画が、条例では、令和10年度に廃止。各センターの職員配置や施設の配置、駐車場問題等課題が多数。市民への説明もないまま、住民福祉の増進に逆行する条例化には反対。

反対
市民
フォーラム

反対の理由は、来年4月1日の地区センターの実施に向けて、配置する職員数の説明がないことと研修等の準備がなされていないことである。
新たに支所業務を行う4つの地区センターで何人の職員を配置するのか、説明が必要で

ある。少なすぎでは混乱が生じる。事務量に比べて過大であれば無駄が生じる。
4か所で新たに支所業務が、9つのすべてで福祉の総合相談窓口が始まる。円滑に職務を遂行するため一定数の職員に事前に研修を行っておくことが必要である。



9地区 =
豊岡第一地区、豊岡第二地区、
豊岡第三地区、東金子地区、金子地区、
宮寺・二本木地区、藤沢第一地区、
藤沢第二地区、西武地区

議案第 53 号
おいしい狭山茶大好き条例

入間市にとって狭山茶は、重要な特産物であり産業であるとともに、狭山茶及び茶畑は市民の誇りとなっています。

狭山茶の主産地であることを全国へ周知し、市民の誇りとなっている狭山茶の振興を図り、茶文化を後世へつないでいくため、新たに条例を制定するものです。

クローズアップ

討論



賛成

自由民主党
 入間市議団

狭山茶は、入間市にとって重要な特産物であり、産業である。また、その景観は市民の誇りでもある。狭山茶の消費拡大や茶業者の減少などが課題となっているが、市が条例を制定する意義は、狭山茶の主産地として、狭山茶の振興や茶文化の継承を、将来にわたり

続けることを明確に表し、市民、茶業者、市が共通の認識を持った施策を継続できることである。みんなで狭山茶を盛り上げ、地域経済の活性化やシティセールスにより知名度を上げ、より一層関心が高まることを期待し、賛成する。

賛成

公明党
 入間市議団

狭山茶の主産地として、生産量50%を誇る入間市だが狭山茶を親しむ市民が減少する中、狭山茶の魅力発信、狭山茶文化を後世につなげるために産地初となる条例を制定したと理解。狭山茶のある暮らしの例として掲げた「一日一杯の狭山茶」は誤解を与えないよ

うな説明が必要。金子地区茶畑の一部で実施する「産業系土地利用計画」の実現は、茶畑の集約・耕作放棄地の解消など生産性の向上につながるものと期待する。県・近隣市と連携し、狭山茶文化や景観が後世につながることを期待し、賛成。

反対

日本共産党
 入間市議団

入間市は、狭山茶の主産地であり、多くの市民は、狭山茶の振興を願っている。狭山茶の振興に関する実現性の具体施策がないため不十分。条例の第4条で「市民は一日一杯の狭山茶を飲むなど狭山茶のある生活を心がけます」と個々人の嗜好に踏み込んでおり条例

になじまない。条例第5条の第2項で「市は茶畑の風景を守る・・・」と掲げているが、第6次入間市総合計画・後期基本計画では青梅インター付近の茶畑を転用し工業系土地利用の推進・開発を打ち出しており施策と条例に整合性が無い。

反対

市民
 フォーラム

本条例の趣旨および各規程が条例に付する立法事実かどうか疑問がある上に、2つの承服できないところがある。

一つ目は、新産業用地創出事業で茶畑をなくしていくのに、狭山茶の振興を図るなどの理念条例を制定すること。新産業用地創出事

業による影響を何一つ説明していない。二つ目は、条例に個人の嗜好に関する規定があること。条例は地方自治体の法律といふべきもので市民に義務を課することができない。任意であっても条例で市民の嗜好を規定することは妥当ではない。





まちづくり・図書館事業・市民生活

長谷川 渉 議員

質問 令和2年4月から契約不適合責任に改正されたが、公共用地売買の対応は。

都市整備部長 取得の際は、事前の対応策として、埼玉県の公共用地取得における廃棄物埋設地及び土壌汚染地への対応方針に準じ、土地利用履歴等調査を行っている。

総務部長 売却の際は、埋設物など原則撤去する。また、売買契約書に原則、損害賠償請求や契約解除権は認めていない内容。

質問 コンビニ交付サービス利便性実感のための手数料10円取組の周知方法は。

企画部長 コンビニと同様のマルチコピー機を市役所1階市民ホールに設置し、操作に不安を感じる市民に対し職員が支援を行い、利便性を知ることによって周知促進を図る。

質問 近年は、猛暑が続いているが図書

館利用者の熱中症対策の水分補給状況は。

教育部長 今後、水分補給を可能とするエリア拡大は他市の事例を研究し、諸課題を整理した上で、検討したいと考える。

質問 市民から、心当たりのない海外からの郵便物の相談に対し対応しているのか。

市民生活部長 商品の送付日から起算して14日が経過するまで処分出来なかったが特定商取引法の改正により、令和3年7月6日以降、一方的に送り付けられた商品は直ちに処分が可能であると案内している。



公共施設跡地(勤労福祉センター)



女性活躍推進・夢の実現に向けた学校教育

古仲 リカ 議員

質問 女性活躍推進について(1)女性が自分らしく輝いていくための各種講座の取組状況(2)女性の悩み事相談事業の開催状況とデートDV等啓発カードの設置状況を伺う。

市民生活部長 (1)女性応援の講座やセミナーの開催、女性就労支援講座を実施、コロナ禍を鑑みネット配信も行っている。(2)週3回の悩み事相談、月1回法律相談を実施。埼玉県発行デートDV防止啓発カードや市発行の悩み事相談案内カードは、スーパーや公共機関の女性トイレに設置している。

質問 子育て世帯の支援も重要、取組は。

子ども支援部長 子育て緊急サポート事業、一時預かり事業、産前産後ケア事業等、親のイライラ対処法「オレンジプログラム」等、子育て世帯に寄り添う支援を実施。

質問 (1)子どもたちの人間関係の持ち方や社会生活におけるルールの指導状況(2)教育長と児童生徒との教育未来会議の状況は。

教育長 (1)コミュニケーション能力の向上を目指したソーシャルスキルトレーニングを21校で取組み教職員が指導をしている。(2)一人一台配布したタブレットを活用し、オンラインで小・中学校の児童生徒代表2名が参加し意見交換を行っている。子ども達の考えや思いを活かした教育行政の実現、子ども達の主体性を育てるために実施。



埼玉県が発行している「ストップデートDV」、入間市発行「悩み事相談」カード



保育に関するアンケート調査について・他

吉田 賢一 議員

質問 1.日常的に育ちに関わる人について。2.潜在的待機児童の把握について。3.自己負担しても受けてほしい保育サービスについて。4.今後の保育園・保育所のありかたについて。5.子どもの遊び場について。

子ども支援部長 1.多様化する市民ニーズにきめ細かく対応していく必要がある。アンケート結果を踏まえ、ニーズに対応するための保育サービスの充実といったことが柱になると想定している。2.子育ての助けとなる施設やサービスの情報提供を充実させたい。3.保育ニーズにきめ細やかに対応していきたい。4.低年齢児の受け入れを充実させる取り組みを検討していく。統合を進めていく中で、保育ニーズに応じた施設整備を進め、適正化を図る必要がある。

国や県の動向を注視したうえで、適切な取り組みをしていく必要がある。5.残土の搬出に合わせ、実施設計及び公園の整備工事を進めていく。

質問 困っている市民が多数いる中で、市独自の新型コロナウイルス感染症検査キット配布事業を。

市長 早急な対応は難しかった。県と同様な体制を整備することは困難であり、他市町村との検査キットの取り合いになるなど、支障をきたすために、市独自の事業実施は難しい。



保育の様子



スマホ教室・ひきこもり支援・給水スポット

向口 文恵 議員

質問 これまで議会質問でスマホ教室の実施を提案してきたが①令和3年度から実施しているスマホ教室の実施状況は②デジタル推進委員の地域での活用を③総務省からのスマホ講座向け教材を活用して、自治会などより細かい単位での実施を。

企画部長 ①令和4年度は8月末で4か所実施し「初めてのスマホ教室」は28人、「スマホ使い方相談」では35人参加②推進委員募集の際は市ホームページ等で情報提供する③身近な地域で環境を整え検討する。

質問 地域福祉の最後の課題と言われる引きこもりの方への支援は、8050問題として長期化しやすく喫緊の課題①相談体制の現状は②実態の調査やニーズの把握を。

健康推進部長 ①精神保健福祉士等の専

門職が対応。専門の相談機関や施設に引き継ぐ②推定1290人程度。地域包括支援センター職員等、実情を把握している方からの聞き取り・アンケート調査を実施。

質問 循環型社会の意識啓発や熱中症対策として①公共施設等にマイボトルで給水できる給水スポットの設置を②お茶販売店に協力依頼し、お茶の給水スポット実施を。

環境経済部長 ①意識啓発は大切。先行他市の事例等を研究し検討する②他の事業を実施予定であるが、合わせて検討する。



所沢市で公共施設に設置している「給水スポット」



情報収集力を高め、 災害から命を守る

末次 正 議員

質問 市民から「犬のフンが放置され困っている」との相談を受けた。対策を問う。

環境経済部長 飼い主に注意を喚起する「フンの放置はダメ」等の看板配布や市HPや集合注射会場で周知している。

質問 マナー違反を犯す飼い主の心理に訴える効果的な看板の採用を求める。

環境経済部長 来年度の看板は、心理的効果を発揮できる内容や色彩等を検討する。

質問 霞川流域自然河岸（土壌が露出した河岸）は、豪雨時の増水で危険な状況、早期の対策が必要。見解を問う。

都市整備部長 現在は、整備を進める予定はないが、地元の要望や飯能県土整備事務所と情報を共有する。

質問 霞川流域は古く老朽化した石積み

の護岸も多く、危険箇所の調査が必要では。

都市整備部長 危険箇所はある程度は把握している。地権者の協力を得ていく。

質問 災害時に役立つ、情報配信サービスの周知と操作方法修得のため、市民がスマホを持参して実践的講習を実施すべき。見解を問う。

危機管理監 出前講座等で、自分のスマホで操作を体験する実践的講座を実施する。

【その他】

県道青梅入間線の南峯西側に横断歩道設置



リアルタイムで配信される河川情報
【埼玉県河川監視カメラの映像】



新電力の地産地消で 脱炭素と地域経済循環を

双木 小百合 議員

質問 地域新電力によるエネルギーの地産地消の仕組みと政策的効果とは何か。

環境経済部長 本市経済の地域循環の実態は、稼ぐ力の生産・販売が年間約4,283億円に対し、稼いだ所得の地域への分配は約6,157億円だが買物・観光・エネルギー代金支出約1,874億円は市外へ流出。特に電気などエネルギー代金の市外流出は、約422億円。市は出資せず、入間市ゼロカーボン協議会を通し地域新電力を誘致する。電力購入契約PPAは、発電事業者が太陽光発電設備を電力需要家の屋上など敷地内に設置し、建物の所有者である需要家が発電業者に電力料金を長期で支払う契約。需要家の初期投資なし、メンテナンス負担なしで再生可能エネルギーを導入できる仕組みを本市は

採用。政策的効果は、脱炭素と地域経済の循環、収益の一部をまちづくりに投資、災害時電力の確保による防災レジリエンス強化、市内企業の脱炭素化、狭山茶・里山の保全など地域課題を解決することを目指す。

質問 脱炭素化事業スケジュールは。

環境経済部長 再エネ導入可能性調査、事業者・需要家導入意向調査、市民行動やSDGs認知度調査により11月上旬に導入目標、令和5年3月「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し進捗管理の予定。



【出典：入間市 SDGs 未来都市計画】

Well-being City いるま
クリーンエネルギーの地産地消で
ゼロカーボンシティ実現



SDGs 未来都市

野口 哲次 議員

質問 国の「2022年度SDGs未来都市」に選定された「Well-beingCityいるま～健康と幸せを実感できる未来共創都市」は、SDGsの「誰一人取り残さない」精神から見れば、貧困、ジェンダー、不平等の取り組みが弱いのでは。

市長 「SDGs未来都市」は、地方創生として波及効果の大きい取組が優先される。SDGsの「誰一人取り残さない」精神は、自治体が進めるまちづくりに欠くことができない視点であり、入間市総合計画後期基本計画等をこの理念を踏まえて取り組んでいく。

質問 今回の提案は、環境面でゼロカーボン・シティを除いてスケールの大きい核となる取り組みがなく、危機感も伝わるも

のない。各取り組みでの関係者には企業が目立ち、市民の影が薄い。SDGs達成に向けて、市民との共創、市民の意識改革をどう進めるのか。

市長 市民にSDGsそのものと選定された「Well-beingCityいるま」を知っていただくことが重要である。そのあとで、自分のこととして捉え、さらには、市民、事業者、市がともに未来を創っていくということにつなげていきたい。



SDGsは2030年を目標年にした持続可能な社会づくりに関する国際目標です。



都市計画・ スポーツ行政・職員研修

大野 勉 議員

質問 「いちょう通り」の北側への延伸と踏切改修の必要性の認識は。

都市整備部長 「いちょう通り」から「中橋通り」に至る路線は、都市計画マスタープランにおいて、構想路線と位置付けられており、重要な路線だが、現段階では都市計画決定する予定はない。

市長 重要な路線であると認識しており、現在の仏子第2号踏切も幅員が狭いため、車両が通行しづらいことも認識している。踏切を改修することで、通行の利便性が向上するものと考えており、まずは踏切協議に向けた検討を進めてまいりたい。

質問 入間基地病院グラウンドが完成したが、夏場など熱中症が心配である。日差しを遮る施設として、背の高い太陽光発電パ

ネルの設置を要望できないか。

市長 災害対処拠点という特性上、工作物は難しいと思われるが、基地との協議の場において、一つのアイデアとして伝えたいと考える。

質問 OJT研修の取り組みは。

総務部長 OJTの推進は、研修計画の中でも重要なものとして位置付けており、現在の職場の実態も踏まえて、より効果的なOJTが実施できるよう研修カリキュラムを検証、再検討していきたい。



「いちょう通り」と入間基地病院グラウンド



部活動の地域移行・投票率の向上

池田 司 議員

質問 1. 部活動の現状は。2. スポーツ庁有識者会議提言について。3. スポーツクラブへの支援は。4. 今後の部活動の在り方は。

教育長 1. 運動部、文化部合計の加入率は86.8%。教師の100%が部活動を受け持つ。2. 地域移行のメリットは、生徒が技術の高い指導を受けられることと、教師にゆとりが生まれること。課題は生徒、教師等の合意形成、人材確保、受け皿となるスポーツ団体等の整備などのほか、生徒の居場所への影響も。4. 学級や学年を超えた集団の中で豊かな人間性や社会性の育成を目指す。

健康推進部長 2. メリットは世代間交流の活発化、高い技術による指導の提供。課題は受け入れ可能な団体の確認、指導者の確保、新たなスポーツクラブ、団体の必要

性。3. 入間市スポーツ協会を通じた補助金の交付。市民大会等における体育施設を利用する際の先行予約や、その使用料について1/2の減額など。

質問 ①地域移行後の教師の部活動への関わり方は。②費用面での家庭の負担は。

教育長 ①教師も外部指導員として兼業で部活に携われるように。②家庭の負担はゼロが望ましいがそうできるとは限らない。

【その他】 投票率向上のために期日前投票所の増設、人員の増強について。



入間市マスコットキャラクター
いるティー



子どもの権利条約・電子回覧板

細田 智也 議員

質問 4月から組織機構の見直しの目的。

企画部長 「第6次入間市総合計画後期基本計画」の策定に合わせ見直しを行った。

質問 「子どもの権利条約」について教育長としてどのように認識しているのか。

教育長 学校教育では、子どもの人権及び成長過程への配慮を十分に行い、一人一人を大切にされた教育を行わなければならないと認識している。

質問 「子どもの権利条約」についての教育現場での当市の今後の方針は。

教育長 生徒会が主体となって校則について見直す等、子どもの権利を尊重した教育活動をより一層、重視していく。

質問 電子回覧板を導入している自治体の認識は。

市民生活部長 デジタルツールを活用する等、感染症の影響で一気に加速している状況。会って話すだけでなく、電子回覧板やオンライン会議といったデジタルツールを活用し、交流していく事も、その手段のひとつであると認識している。

質問 電子回覧板などデジタル化社会を見据え、どのようにアプローチしていくか。

市民生活部長 デジタル社会を見据え、連合区長会を通じて自治会向けデジタルツールの情報を提供する。



ICTプラットフォームサービス (例)



コロナ対策・市長公約

松本 義明 議員

- **質問** 新型コロナウイルス感染症の検査体制を更に充実すべきである。市独自事業である濃厚接触者の早期復帰に対する検査キットの無料配布事業について更なる周知に努め活用してもらえるようにすべきでは。
- **健康推進部長** 市公式ホームページ以外に各種団体への情報提供に努めていく。
- **質問** 市長公約の進捗状況と課題認識は。
- **市長** 公約として挙げた方策は全部で60項目あり、令和4年3月現在の進捗状況は完了が8件(13.3%)、実施中が28件(46.7%)、着手が24件(40.0%)、未着手が0件である。課題認識は職員が失敗を恐れずチャレンジする組織風土の醸成を図ることである。
- **質問** 未来に向けた戦略としてSDGsの基本理念をもとに持続可能な行政運営を進め

ていくべきである。具体的施策として①稼ぐ行政、②9地区のまちづくり、③社会課題の解決にどのように取り組まれるのか。

市長 ①外部人材として事業コーディネーターを登用する。②地区センターが地域の核となるような地域づくりをする。③官民連携を推進し地域資源を活かしていく。

質問 任期の後半に向け現状の課題や未来に向けた戦略を踏まえた今後の展望は。

市長 近隣市町及び国や埼玉県とも連携しながら広域的に課題解決をしていく。



濃厚接触者早期職場復帰対応
入間市抗原検査キット無料配布事業



歩行者の交通安全 元寇と鎌倉幕府滅亡

宮岡 治郎 議員

- **質問** 市道の整備と交通安全対策について。(1)市による道路拡幅の件数や、最近の傾向は。(2)路面の標示、警戒標識や注意啓発看板の設置、歩行者への安全啓発活動は。
- **都市整備部長** (1)直近3年間の拡幅工事実績は57、55、63件で、それに伴う交差点の隅切り工事件数も、ほぼ横ばいの状態。
- **市民生活部長** (2)区画線、文字・記号等の標示、「子供飛出し注意」等の看板。交通安全教室を年185回実施、交通安全運動も。
- **質問** 重要文化財の『円照寺の板碑』について。(1)歴史的背景、『臨剣頌』と供養者の加治家貞とは。(2)市民への公開の状況は。(3)博物館と学校の連携で、有効活用は。
- **教育部長** (1)石材の塔婆で、鎌倉幕府滅亡の元弘3年(1333年)5月22日と、南宋

に侵攻した元の兵を、動ぜずに退けた無学祖元の漢詩を刻む。家貞は祖元を尊崇し、新田義貞の鎌倉攻めの際に、小手指ヶ原で、幕府軍副将として従軍。(2)板碑の模造品を、加治氏館の模型と共に、博物館で常設展示。

教育部長 (3)地域の歴史学習として、野田中学校では、生徒が円照寺・白髭神社・館跡の現地に赴き、学芸員や住職から説明を受け、生きた文化財として理解と愛着が深められている。映像も含めて視覚的教材としている。体験的な学びを、推進したい。

元寇の時代、北条時宗に招かれた、無学祖元の漢詩を記載(入間市博物館提供)





18歳まで医療費無料に 市民意見反映のまちへ

安道 佳子 議員

質問 全国、埼玉県内で子ども医療費無料化が進んでいる状況への認識は。

市長 子ども医療費無料制度は子育て支援策として重要。県内では高校卒業までの無料化がH29年度とR2年度の比較で、入院は26~32、通院は14~15自治体に拡充している。入間市は入院で平成24年度・通院は平成25年度から中学卒業まで無料である。

質問 入間市の合計特殊出生率は1.11とダイヤ5市で最低の数値。医療費を18歳まで無料化し子育てを応援すべきでは。

市長 医療費無料化は、国が全国一律に実施すべき制度。国に制度化を要請したい。

質問 国・県が制度化しないため、各自自治体で支援している。入間市の出生率をみれば市独自で取り組むべきではないか。

市長 入間市でも様々な施策に取り組んでいる。総合的に判断している。

質問 入間市駅前側留保地の利用計画見直しの進捗状況と市民意見の反映はどうか。

企画部長 遅れているが業者に委託し年度末に計画確定する。ワークショップで市民意見を聴取し計画に反映させたい。

質問 年度末の計画確定は無理がある。社会情勢が不安定、慎重に進めるべきでは。

市長 市民意見を反映し計画を確定して民間の力を活用し事業を進めたい。



入間市駅南口広場から見える駅前留保地の緑地



コロナ対策・草刈り・ 国葬中止の要請を国に

佐藤 匡 議員

質問 学校において十分な空調と換気関係費の確保を。

教育長 コロナ禍でも学びを止めることがないよう適切な換気を行いながら、国の学校衛生管理基準に基づき室温を確保している。空調にかかる費用が不足する場合には補正予算により予算を確保している。

質問 学びの格差の実態と対策について。

教育長 誰一人取り残すことのないよう個別最適な学びと協働的学びを実現するために徹底した感染防止対策を実施する。

質問 入間市の草刈りについて。

環境経済部長 3年間の苦情件数の推移は令和元年度90件、令和2年度62件、令和3年度58件。地域支えあい組織による取り組みがある。困りごとがあれば、社会福祉

協議会、来年度からは地区センターにも相談いただきたい。

質問 国葬において学校での黙祷は。

教育長 政府から教育委員会に対して弔意表明の協力を求めない方針が明らかにされたので、黙祷等の指示をすることは考えていない。

質問 国葬中止の要請を国に。

市長 国葬儀は国の儀式として執り行われることであるので、市から中止の要請を行うことは考えていない。



市内中学校



ヤングケアラーの支援について

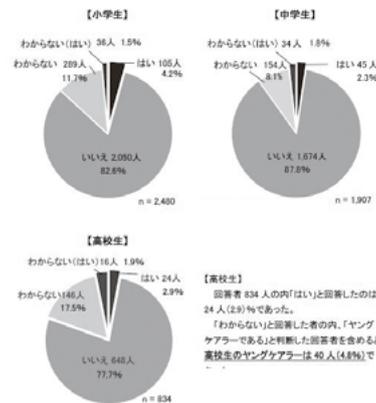
小出 亘 議員

- **質問** 高崎市は子どもに代わって家事や介護を担うヘルパーを無料で派遣する「ヤングケアラーSOS事業」を9月に始めると発表した。神戸市は、家族の世話に日常的に追われる18歳未満の「ヤングケアラー」がいる世帯を対象に、無料でヘルパーを派遣する訪問支援事業を始める。入間市でもヘルパー派遣が必要ではないか。
- **子ども支援部長** 要支援児童を対象とした既存のヘルパー事業にヤングケアラーも対象に加え活用できるようにした。
- **質問** 学校におけるヤングケアラーの早期発見、相談体制は。
- **教育長** 教員だけでは困難なのでスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと連携しながら、情報を交換し、

早期発見に努める。学校にいる専門家が相談に乗ることも有効。情報共有、方針検討をし、こども支援課、教育委員会に繋げる。

質問 国の財政支援コーディネーターの配置、市区町村1か所あたり6,801千円、負担割合、国：10/10、ピアサポート等相談支援体制の推進、市区町村1か所あたり、3,276千円、国：10/10などの活用は。

市長 紹介のメニューは承知している。コーディネーターについては来年度から配置する方向で検討している。



ヤングケアラーの存在について (入間市ヤングケアラー実態調査結果より)

議会だより編集委員会を設置し、昭和50年2月に「いるま市議会だより」No.1を発行。今回号でNo.200となりました。



No. 1

昭和50年2月1日号
議会と市民のパイプ役として「議会だより」を発刊。



No. 122

平成15年5月1日号
昭和50年に創刊以来、初の全面見直し。表紙、裏表紙をカラーに。



No. 142

平成20年5月1日号
経費削減のため、刷り色を変更。全面2色刷りになる。



No. 182

平成30年5月1日号
16ページ固定のフルカラーにし、見やすくPR力向上。広報いるまに折り込み、広報力を上げる。

決算特別委員会

令和3年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員長 古仲 リカ

委員 小出 亘 末次 正 池畠 司 大野 勉

副委員長 長谷川 渉

永澤 美恵子 紺野 博哉 宮岡 治郎

決算特別委員会の現地調査報告

令和3年度の一般会計決算に関して、10月3日(月)に、入間市内2か所を現地調査しました。

西武地区体育館改修工事

担当は、
健康推進部スポーツ推進課

工事場所
工 期
工 事 費
工事概要

野田1134番地57
令和3年6月25日から12月24日
9,097万円
屋根の改修、外壁の改修、非構造部材の耐震化、
建具の改修、便所の改修、便所の改修に伴う電気設
備改修及び機械設備の改修、照明器具の改修



藤沢北学童保育室創設工事

担当は、
こども支援部青少年課

工事場所
工 期
工 事 費
工事概要

東町7丁目1番19号
令和3年7月5日から令和4年3月31日
1億1,528万円
(1) 学童保育室創設工事/木造2階建て 延床面積
367.75㎡
(2) それに伴う、電気設備工事及び機械設備工事



姉妹都市議会交流事業

7月14日(木)から15日(金)まで、入間市議会の正副議長と4委員長が佐渡市を訪問し、佐渡市議会と交流しました。

佐渡市の移住交流推進課管轄の2施設を視察 (7月14日)

『シェアオフィス』は、両津港の南埠頭ビル3階の食堂を改装し、区画を仕切って個室とし、机・椅子や各種の資機材を備えています。壁の内装には佐渡古材を用い、利用者が落ち着いて事務作業に取り組める空間です。



『インキュベーションセンター』は、河原田本町の商店街に位置します。味噌屋の空き店舗の2階建ての古民家から、細長い敷地奥の味噌蔵や裏庭までを、リノベーション(改造)しています。ベンチャー企業のスタートアップ(創業開始)の支援と共に、IT技術を学習する場ともなっています。



● 姉妹都市議会の交流会を開催



情報交換

- (1) 新型コロナウイルス対策について：それぞれの議員の検温・手指消毒、議場内・委員会室内の亚克力板設置等、諸々の対応がほぼ共通していました。
- (2) 議会広報について：佐渡市議会のYouTube配信では、



一般質問を終えた議員が、30秒で感想を語る『一発撮り』が試行されています。入間市の『議会だより』の、経費や編集等についての質問もありました。

佐渡の金銀山関連の2施設を視察 (7月15日)



『きらりうむ佐渡』は、2019年4月に開設された、現地見学のガイド施設です。

金銀山の歴史、砂金採り、採鉱から小判製造までの

工程、集落の人々の暮らし等が、分かり易い解説文や地形模型、グラフィック(視覚表現)で示されています。

大型映像では、プロジェクションマッピング(立体物に映像を張り合わせて投影する技術)の導入もあります。国際理解にも配慮して、英語の字幕付きです。

『北沢浮遊選鉱場の遺構』は、機械化による大量生産の選鉱場として、1937年から52年

まで稼働した施設の跡です。建屋の屋根は既に無くなり、階段状のコンクリート躯体がむき出しとなっており、夏草の緑に覆われています。右側は変電設備の跡、その手前にはかつて従業員の方々が作業後に体を洗った浴場の跡地も在ります。



入間市インタビュー 市民の声

interview 1



ジュディと 議会を傍聴

【小谷田】
齊藤 雅子 & ジュディ

私は視覚障がい者です。盲導犬ジュディと5年半、一緒に生活していく中で、悩みや不具合を感じていました。悩みや不具合は、入間市の施策により、改善できる事もあると思い、議会を傍聴することにしました。

傍聴した一般質問で、質問する議員も答弁する職員も真剣に討議されていて、迫力があり、聴いていて感動しました。私が感じた不具合も、将来、議題に取り込まれて実現されるものと期待します。市で安心して暮らすためには、市の活動を知る事が大切と、遅まきながら感じました。このため、今後も議会の傍聴に行きたいと思いました。障がい者と健常者の間に、壁のない共助の世の中になれば良いと願っています。傍聴のため、市役所に行ったところ、職員の方が議場まで案内して下さったり、議員さんに言葉をかけて頂いたことなど、大変お世話になりました。ありがとうございます。

interview 2



届く声

【扇台】
高橋 理美

小学4年生の時に入間市に越してきました。大人になってからは都内にずっと住んでいましたが、2人目の出産前に入間市に戻ってきて、現在3人の子育て中です。

子育てをしていく中で色々疑問に思ったり、改善してほしいことがあり、どうしたらいいかと悩んでいましたら「市民提案ボックス」というのを見つけました。市内14箇所に設置されたボックスに意見を投書すると、市長が読んでくださり、各担当課に送られ調査検討してくださるといいます。私は住所名前を書いて投書したのでメールで回答をいただけました。市に意見を直接言える場があり、お忙しい中市長が読んで、回答を頂けるこのシステムは本当に素晴らしいと感動しました。安心して子育てをしていける大切なポイントだと思います。今後も子ども達を入間市でのびのび育てていけるようよろしくお願いします。



いるま市議会だより No.200

表紙 / No.1 からの
議会だより

編集 / 議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○吉田 賢一
小出 亘 池島 司
大野 勉 双木小百合
細田 智也 金澤 秀信
古仲 リカ

発行 / 入間市議会

インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>
または「入間市議会」で検索



12月定例会日程案

- 11月29日(火) 開会
- 12月 5日(月) 総括質疑
- 12月 6日(火) 総務常任委員会
- 12月 7日(水) 都市経済常任委員会
- 12月 8日(木) 福祉教育常任委員会
- 12月12日(月) 一般質問
- 12月13日(火) 一般質問
- 12月14日(水) 一般質問
- 12月20日(火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、
議会事務局へお問い合わせください。

